

難聴児の早期診断・早期療育支援のために

愛知県耳鼻咽喉科医会
高橋真理子

難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針について (令和4年2月25日 厚労省通達)

座長：九州大学耳鼻咽喉科 中川尚志教授

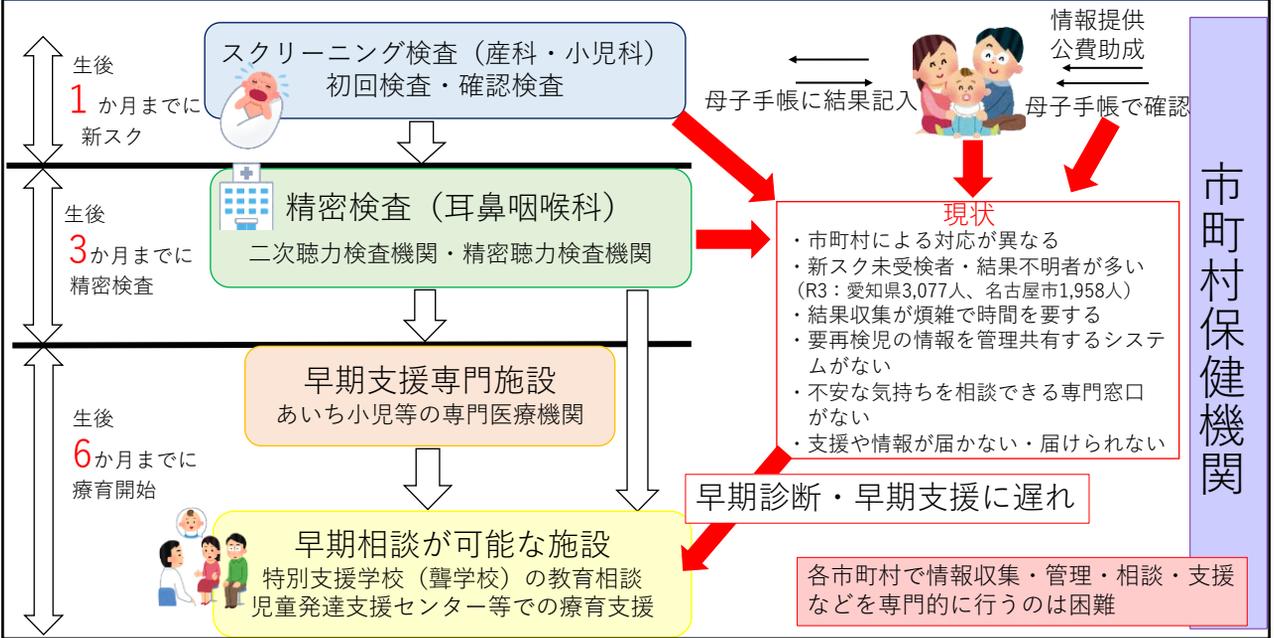
■ 難聴児支援の基本的な考え方

1. 早期発見の重要性
2. 保健、医療、福祉及び教育の連携
3. 本人及び家族等を中心とした支援
4. 学校や障害児通所支援事業等関係機関における取組の重要性
5. 切れ目ない支援の必要性
6. 多様性と寛容性

■ 方策

1. 新生児聴覚検査に係る協議会の設置、難聴児支援を行う中核的機能を有する体制確保、聴覚特別支援学校等の教員の専門性向上に向けた取組を充実
2. 新生児聴覚検査体制の整備・・・refer児の追跡調査、受検率向上、精度管理など
3. 家族等に対する支援・・・情報提供、相談対応など
4. 学校や障害児通所支援事業所等関係機関における取組・・・支援の専門性向上
5. 切れ目ない支援に向けた取組・・・軽中等度難聴児を含む、就学

愛知県の新生児聴覚検査実施体制



専門的なセンターの設置（案）

（参考：福岡県乳幼児聴覚支援センター）

